

仕様書

1 目的

この業務は、広島市民病院（以下「病院」という。）治験審査委員会等におけるペーパーレス会議システムの賃貸借に関する必要事項等について定めるものとする。

2 業務の内容

(1) 概要

設置場所における機器等の構成及び数量は、次に表に掲げるとおりである。

場所	構成	
	機器名	数量
病院	iPad	21台
	ペーパーレス会議用サーバーシステム (外、5 その他参照)	1式
	iPad 充電保管庫 (iPad 21台を1度に1台で充電可能な保管庫を提供できること。)	1式

(2) 業務内容

ア 治験審査委員会等のデータ化された審議資料を iPad 間で共有し委員への閲覧に供するための iPad 端末及びデータ共有システムの供給。また、その保守、整備、点検。

(3) 実施場所

広島市民病院

3 業務実施報告

広島市立病院機構賃貸借契約約款（機器用）第11条に定める賃貸借料は月払いとし、受注者は、支払い要件として翌月の10日までに請求書を提出し、その確認を受けること。

4 留意事項

システム導入、運用に際しては以下の対応を行うこと。

ア) iPad 運用支援

iPad の基本設定、サーバーシステムとの接続設定・確認

イ) サーバーシステム運用支援

サーバーシステムの基本設定、接続確認

ウ) 不具合発生・故障時の問い合わせ対応

病院の開院時間内（平日 8 時 3 0 分～ 1 7 時 1 5 分）に問い合わせ可能な窓口を有すること。また、必要に応じ来院による対応が可能であること。

5 その他

【システム要件】

- (ア) タブレット等の端末を無線アクセスポイントを介して接続したサーバ PC と接続し資料を閲覧するスタンドアロン版方式
- (イ) ペーパーレス会議用サーバーの OS は LinuxOS とすること
- (ウ) 契約期間中は継続して使用できること
- (エ) 使用者及び管理者が操作等について、問い合わせ可能なヘルプデスク等のサービスがあること
- (オ) 利用可能なライセンス数は 25ID とする。
- (カ) 資料閲覧用のアプリケーションでは Windows10 及び 11、Android、iOS 及び iPadOS の最新のバージョンに対応し、複数 OS でも利用できること。
- (キ) アプリでは利用 OS ごとにユーザーインターフェースに差がないこと。
- (ク) 操作性、視認性、システム管理の効率を考慮したものであること。

【基本機能】

- (ア) 資料毎に公開する期間を分単位で設定できること。
- (イ) PDF 閲覧時にページの特定位置を指し示すポインター機能があること。
- (ウ) PDF のページを拡大/縮小表示する機能があること。
- (エ) アプリでは、PDF のページの特定箇所に付箋を追加し、テキストを残すことができること。
- (オ) PDF のページに対して手書きのメモ書きができること。また、手書きメモは自動的に保存されること。
- (カ) iOS、Android のスマートフォン用アプリを利用した際のメモ等の情報もタブレット端末と同様に自動的に保存されること。
- (キ) PDF のページに対して実施した手書きメモや付箋等の各種情報は、資料の差し替えが発生した際にも各種情報が維持されること。
- (ク) PDF 閲覧時に手書きメモを見るモードと手書きメモのない原本ファイルを見るモードを選択できること。
- (ケ) 手書きメモを実施した資料は PDF などの印刷が可能な拡張子で出力できること。
- (コ) アプリでは、マーカーツールを利用することで PDF にマーカーを引くことができ、フリーハンドの縦線または横線が、自動的に直線に補正されること。また、PDF のテキスト以外の場所（画像やグラフの上など）にもマーカーの直線補正が適用できること。

- (サ) アプリでは、カレンダー形式で会議毎に資料を表示することができること。
- (シ) アプリで表示されるカレンダーは月表示と日表示を切り替えることができること。
- (ス) アプリ上では二つの資料を同時に開くことができ、二つの資料が同じ場合でも、両方の資料に書き込みができ保存されること。
- (セ) アプリではキャッシュデータの存在する資料は、オフライン環境でも閲覧することができること。
- (ソ) アプリでは、タッチパネル上のピンチイン・ピンチアウト操作、または画面上のボタン操作で資料の拡大縮小ができ、最大 16 倍まで拡大ができること。
- (タ) オフライン環境での閲覧可能期間は任意の期間を設定できること。
- (チ) アプリではログインユーザーに対して閲覧権限のある資料のみが表示されること。
- (ツ) アプリでは閲覧権限のある資料の一括ダウンロードを待たずに資料の閲覧ができること。
- (テ) 利用を許可された端末からのみ閲覧することができること。また、利用者毎に資料の閲覧権限を設定することができること。
- (ト) 利用を許可された IP アドレスのみ閲覧することができること。また、設定する IP アドレスは利用するアプリの OS ごとに選択できること。

【会議機能】

- (ア) 会議参加者と日時を指定した会議を作成することができること。
- (イ) 会議には権限を与えられた参加者のみ指定された資料を閲覧することができること。
- (ウ) 会議の参加者は、自分の意思で同期モードと同期しないモードを選択できること。
- (エ) 会議の発表者のページ操作は、参加者が操作をしなくても、画面が同期されること。
- (オ) アプリのすべての種類の画面同期において、会議の発表者と参加者どちらの状態でも現在画面同期に参加しているユーザーの一覧をリアルタイムで確認できること。
- (カ) 発表者が操作する場合、資料表示やページ送り、ポインターなどの動作は、会議に参加している参加者のタブレット端末に、発表者画面と同じ画面が表示され、会議進行が出来ること。
- (キ) 会議の発表者の手書きメモは参加者のタブレット端末にも表示することが可能であること。

【管理】

- (ア) 利用には、ユーザー認証が必要であること。
- (イ) 資料の登録・削除などの管理者操作は PC ブラウザから操作できること。
- (ウ) ダウンロード済みの資料は、あらかじめ定めた公開期間終了後に、タブレット端末から自動で削除されること。
- (エ) ユーザーの持つ権限により、アクセスできるフォルダー及び資料を制限することが可能であること。
- (オ) 管理者によるパスワード変更が可能であること。
- (カ) 管理者は、サーバー内に自由にフォルダーを作成し、資料を格納することが可能であること。
- (キ) 管理者サイトでは、フォルダーや資料の登録画面とは別に、アプリのカレンダーに表示される会議を設定するための専用画面が用意されていること
- (ク) 会議のカレンダーを作成する際、既に登録済の資料のうちから各フォルダーを横断し必要な資料だけを選んで会議を作成することができること
- (ケ) 過去に作成した会議情報は、意図的に削除しない限りカレンダーに表示され続け、参加者はいつでも資料を見返すことができること

【セキュリティ】

- (ア) アプリでは、端末には暗号化された状態で資料をダウンロードすることができ、アプリを通じてのみ復号化することが可能であること。
- (イ) サーバーと端末間の通信経路は、暗号化通信をしていること。
- (ウ) 端末認証・ユーザー認証をした端末のみが資料を閲覧することができること。
- (エ) 管理者は利用者の端末をアプリ内の固有番号を用いて特定することができること。
- (オ) アプリでは、オフライン状態のまま 7 日間経過後に、オフラインでアプリにログインすると端末内に保存した全てのキャッシュデータを自動削除する機能があること

【セキュリティ】

- (ア) メーカーサポート終了までスポット修理対応できる体制をもっていること。
- (イ) Apple 正規代理店 (Apple VAR) であること
- (ウ) DEP 対応 iPad を提供できること
- (エ) 自社で MDM が提供できること

以上